



玉藻稲荷神社



黒羽観光集

川西地区の見どころ



くらしの館の河津桜



臥龍の藤

川西地区小地域福祉活動計画策定委員会 ◎会長 ◎副会長

No.	氏 名	役 職 等	No.	氏 名	役 職 等
1	◎伊藤 明男	川西地区社会福祉協議会会長	12	平野 秀雄	単位いきいきクラブ会長
2	○郡司 彰	川西地区社会福祉協議会副会長	13	新巻 康夫	障がい福祉関係者
3	○大石 香代子	川西地区社会福祉協議会副会長	14	磯 智保子	黒羽中学校 PTA 会長
4	郡司 英俊	川西地区区長会会長	15	黒田 裕一郎	川西小学校 PTA 会長
5	新巻 満雄	大田原市議会議員	16	朝野 直子	福祉委員
6	大塚 正義	大田原市議会議員	17	郡司 照江	川西地区見守り隊主任
7	渡邊 誠市	川西地区見守り隊総隊長	18	村上 三郎	市地域福祉活動計画策定委員
8	松本 茂	民生委員児童委員協議会会長	19	松本 ヨシ子	福祉委員
9	朝野 久	川西地区区長会事務局	20	菊池 智子	川西ほほえみセンター長
10	佐藤 和夫	学校支援ボランティア	21	矢村 則子	川西地区見守り隊副総隊長

発行年月：令和4年3月

編集：川西地区社会福祉協議会

連絡先：大田原市社会福祉協議会黒羽支所（電話：54-1849）

川西地区 思いやりと 愛があふれ つながり合う地域づくり

《第1次小地域福祉活動計画 2022年度～2026年度》

小地域福祉活動計画って？ 目指す地域像

将来を見据え、私たちが住んでいる地域の良
いところや課題などを話し合い、みんなで協力
しながら「支え合いの地域づくり」（互助・共助）
を進めるための「川西地区社会福祉協議会」の
計画です。

おたがいさまで
ささえ愛ながら
生きていく川西地区

川西地区の人口構成等（令和4年1月1日現在）

人 口	年少人口	396人	自治会数	15自治会
	生産年齢人口（15～64歳）	2,323人	世帯数	1,574世帯
	高齢者人口（65歳以上）	1,391人	高齢化率	大田原市 30.4%
	川西地区 合計	4,110人		川西地区 33.8%

川西地区の特色

川西地区は、那珂川の西に位置し、那珂川
水運が地域の経済を支えていた時代には、最上
流の河岸として栄え、今でも当時の繁栄を偲ぶ
民家や商家が残る、歴史の香り漂う地域です。
更に古くは、京の都と陸奥国を結ぶ東山道が川
西地区を通っており、多くの人々が川西地区を
訪れていました。

水がきれいで米どころとしても有名ですが、他
にも果樹栽培や野菜の栽培、酪農なども盛ん
におこなわれています。また、毎年夏になると、那
珂川の鮎を目当てに多くの釣り人や観光客が足
を運び、賑わいを見せています。中心部には医
療機関や複数の商業施設があり、比較的生活
しやすい地域となっています。

少子高齢化や担い手の不足等、全国で起き
ている課題が川西地区でも進んでおり、大きな
課題となっていますが、自治会を中心とした居
場所活動を積極的に開催する等、地域が一丸
となって地域の活性化に取り組んでいます。



高岩公園

～おたがいさま、ささえ愛の地域をめざして～ 川西地区が取り組んでいくこと



目 標		実現のための主たる具体目標 (取り組むこと)	2022	2023	2024	2025	2026
人づくり	結(ゆい)の心をもった 助け合いの人づくり	①多世代間の協働、連携(助け合い)のための意識を高める	調査・企画・検討		実 施		
		②ものづくりを通じた、学校や子どもたちとの交流を推進する			実施・継続		
		③伝統行事を継承し、地域のつながりを深める			継 続		
居場所 づくり	気軽にお互いさまで誰 でも集まれる居場所づ くり	①自治公民館の有効活用を推進する			周知・実施		
		②地域にある遊具を貸し出し、居場所づくりの活性化を図る			検討・周知・実施		
		③テーマ(デジタル化等)を決めて、多世代が集える交流を行う			調査・検討・実施		
地域 づくり	みんなが笑顔でふれあ い、支え合える地域づ くり	①「挨拶の声が聞こえる」地域運動に取り組む			周知・実施		
		②関係機関と連携した、各自治会での防災活動を実施する	企画・調整		実 施		
		③地域愛を高めるための、ミニ広報誌(自治会毎)の発行を目指す			企画・検討・調整		
					実施(順々に)		

愛があふれる 川西地区の活動

